

その他の不確実性の問題点に係る改善方法(案)

不確実性等に関連する調査のうち、本資料では、用途不明分に関する問題点以外の改善方法について以下に示す。

1. 調査の背景

平成 20 年度調査における課題として、用途不明分に関する問題点以外の課題と対応方針は表 1 のとおりである。

表 1 排出量の不確実性に係る課題と対応方針(案)(資料1の表2抜粋再掲)

発生源品目	課題	今後の対応方針(案)
102 食料品等(発酵)	<ul style="list-style-type: none"> 欧州における大気排出率を使用して推計を行っており、国内の実態を反映しているの不明 不確実性のレベルが数万トン 	<ul style="list-style-type: none"> 代表的なメーカーを選定し、アンケート調査を実施する。
314 粘着剤・剥離剤	<ul style="list-style-type: none"> 粘着剤・剥離剤の使用に係る VOC 排出量の捕捉率が不明確(日本粘着テープ工業会) 推計結果の不確実性のレベルが数万トン 	<ul style="list-style-type: none"> 粘着剤等のメーカー、商社等に対する粘着剤の販売量と自主行動計画の関係の整理を行う。
315 ラミネート用接着剤	<ul style="list-style-type: none"> ラミネート用接着剤の使用に係る VOC 排出量の捕捉率が不明確 推計結果の不確実性のレベルが数万トン 	
312 印刷インキ	<ul style="list-style-type: none"> オフセット印刷、グラビア印刷以外の印刷に適用している大気排出率が不明(日本印刷産業連合会) 排出抑制対策の進捗状況の反映ができない推計方法 推計結果の不確実性のレベルが数千トン 	<ul style="list-style-type: none"> 関係団体へのヒアリング及び会員に対して、大気排出率に関するアンケート調査を実施する。
313 接着剤	<ul style="list-style-type: none"> 日本接着剤工業会調査以外の物質の使用実態が不明 推計結果の不確実性のレベルが数千トン 	<ul style="list-style-type: none"> 日本接着剤工業会において調査物質の拡大を行う予定であり、日本接着剤工業会より情報の入手を行う

2. 具体的な改善方法

上記のとおり、課題ごとに調査を実施した結果を使用して大気排出率の再設定などを行う(表 2 参照)。

表 2 発生源品目ごとの改善方法及び対応する資料

発生源品目	改善方法	資料
102 食料品等(発酵)	代表的な国内のメーカーに対するアンケート結果と既存の推計で使用している大気排出率を比較検討し、より妥当な大気排出率を用いて排出量を推計する。	資料 3-1
314 粘着剤・剥離剤 315 ラミネート用接着剤	粘着剤等の販売量と自主行動計画の比較結果から、推計の過不足を把握し、定量的なデータが得られた場合には捕捉率を再設定する。	資料 3-2
312 印刷インキ	印刷会社に対するアンケート結果と既存の推計で使用している大気排出率を比較検討し、より妥当な大気排出率を用いて排出量を推計する。	資料 3-3

